

## 2006年度第8回研修委員会議事録

日 時：2006年10月26日（木）15：00～17：10

場 所：国士舘大学附属図書館 4階AVホール

出席者：浮塚利夫（明治大学）・御園和之（早稲田大学）・岡野純子（慶應義塾大学）・和田貴敏（中央大学）・光富健一（東京理科大学）・関秀行（オブザーバー）木下幸子（国士舘大学）・鴨下彰子（次期研究部担当理事校東京経済大学）

議 長：浮塚利夫（委員長）

記 録：木下幸子（研究部担当理事校）

配布資料：①2006年度第8回研修委員会の議事次第  
②2007年度研修テーマ（案）

### 議 事

#### 1. 2006年度第1回研修会の総括と反省について

アンケート集計結果を基に感想を述べ合った。主な点は次のとおり。

- ・基調講演について、レファレンス全体的なことに触れていただき、広く知識を得ることができた。わかりやすかったという受講者の感想が多かった。
- ・齋藤講演について、先進的な海外の事情を知ることができてよかったという意見が多かった。
- ・山元講演について大学により、協同データベースに参加しているところは新鮮みはなかったが、参加していない大学にとっては啓発されたという意見が多く、研修の流れとしては、組み込んでよかった。
- ・高梨講演について、最新のレファレンスとは逆の昔ながらのレファレンスという講演であったが、反発は少なく好意的に受け止められていて、受講者の反応も良かった。アンケートの回答が最も多かった。
- ・村田講演について独特なパスファインダーで、これからパスファインダーを作成しようとして計画している図書館にとっては参考になったという意見が多かった。
- ・松山講演についてプレゼンテーションが上手だったという意見が多かった。具体的な事例報告には皆感心があり、ICUの環境をうらやましいと評している人が多かった。高梨講演とは対局をなすものであるがこちらも好評だった。
- ・市古講演について講演を聴いて元気づけられた、勇気づけられたという感想が多かった。
- ・研修会全体について、①レジュメとは別にPPTの資料がほしいという意見があった。次回研修会から私図協のHPに掲載することを検討することになった。②事例報告は感心があるようなのでテーマによっては今後も組み入れる。③アンケートの集計については、現行のままでは事務局に負担がかかりすぎるので、後日メールで回答してもらおう方法とか、当日回収するなら、記入事項を少なくする方法などを検討することとなった。④研修会の記録をどのような形で残すか、今後も検討を継続する。⑤研修会の参加申込受付についても次期事務局の意向を尊重しつつ検討することとなった。

#### 2. 2007年度研修会テーマについて

配付資料②を基に委員長から説明がなされ、継続検討することとなった。

#### 3. その他

次回研修委員会 12月6日（水）14：00～17：00 明治大学

以 上